

JC 2009 NEWS

社会変革に挑むカタリストたれ！
わがまち北九州への誇りを胸に

Kitakyushu JC Report 2009
社団法人北九州青年会議所
Junior Chamber International Kitakyushu
<http://www.kitakyushu-jc.jp/>
[事務局]
〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館6F
1-35-6F, Furusenba-machi Kokura-kita, Kitakyushu, Fukuoka
TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-mail : room@kitakyushu-jc.jp

12
December

JCI Junior Chamber International Kitakyushu
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

2009年12月号



社団法人北九州青年会議所 第57代理事長

松尾 孝治

2009年最後の対談は
本年度、社団法人日本青年会議所の
会頭を務められた安里繁信君を
ゲストに松尾理事長と
語り合っていました

北九州を
カタリヒト。
vol.09

社団法人日本青年会議所 第58代会頭

安里 繁信



1969年生まれ、沖縄県出身。高校卒業後上京。1990年に帰沖し、父の経営する安信輸送サービス(株)に入社、経営危機の会社を短期間でグループ16社、グループ年商600億円を誇る企業群に築き上げ、現在それらを束ねるシンパホールディングス(株)の代表取締役社長。
企業経営の傍ら、県教育委員等を歴任後、沖縄県知事の諮問する沖縄21世紀ビジョン懇話会の委員や2009年度(社)日本青年会議所第58代会頭としても活躍。

**全国会員大会を主管する立場として
最も大切にしたいのは誘致理念。**

松尾 まずは、2012年度第61回全国会員大会の
主管青年会議所としてご承認して頂きまして有難うございました。

安里 今回は誠にありがとうございます。

松尾 3年間の誘致運動では色々となりましたけれども、なんとかここまで
漕ぎ着けたと思います。ただし、10月15日の日本JC理事会での
主管青年会議所として決定した時は本当に嬉しかったのですが、そ
う感じたのはその瞬間だけで、その後は時間の経過と共に、プレッ
シャーと責任を重く感じております。

安里 仮に他の青年会議所が手を挙げていたとしても、あれだけ成熟させ
た形で2012年の大会をご提案頂いたことは誇りに思っています。また、何かと比較したとしてもあれ程の精度であれば皆の
共感を得ることができたのではないかと思います。

松尾 有難うございます。安里会頭のその言葉が、理事長として一番うれ
しいですね。

安里 私が最も大事にして欲しいのは全国会員大会の誘致理念なのです
よ。北九州JCが全国会員大会を誘致する理念というものが主管す
る立場の者として必ず根にあって欲しい。あとは表現方法の問題で
すが、それは2012年度日本JCの会頭所信に基づいたカラーという
ものを、大会主催者である日本JCと調整を図っていけばいいと思
います。そもその理念が全く立ち消えになってしまっていて、結果と
して違うことをやらざるを得なかったというのが一番の悲劇で
あって、今ある軸だけは大事にこれからも語り継いで頂きたいと
思っております。

**3年目の誘致運動は、
「公の精神」を軸にして大きく変わった！**

松尾 例えば、今年度の沖縄那覇大会の開催理念の柱であった「ゆいま
ー」の精神のように、先人から受け継がれていった精神性があるの
ではないのか？それをどうやって掘り起こしていこうかと、それは
決して北九州に無いわけではなく、きっとあるはずだということを今
年、理事長として誘致理念を作る際にまず考えました。今までの全
てを一度リセットした状態で3年目の誘致運動をスタートさせて頂
きましたが、特に理念に関しては「公の精神」を軸にして大きく変
わったと思います。自分自身この北九州のまちが大好きですので、
3年間という時間をかけて北九州という地層を掘り起こしてい
たら、そこに「公の精神」という宝物があったという感じなのです。例
えば、五市合併にしても、環境・公害問題にしても、言うならば負の
歴史であって、市民の劣等感のようなものだったのです。

松尾 博多のまちは綺麗、北九州は公害。五市合併したけれども、一体感
がないということがコンプレックスだったのが、市民のプライドに
変わった。それが去年から今年にかけての大きな進化だったと思
います。これまでの北九州の歴史は、私たちのコンプレックスではな
くプライドなのだと。

**沖縄那覇大会で明確に伝えたかったことは、
「沖縄戦とはどういう戦争だったか」ということ。**

安里 今は沖縄の基地問題というものがかなりクローズアップされてお
り、特に日米同盟の基軸がそこに存在している訳です。ですから、
今後も国内ではこの沖縄の基地問題というのが、かなり議論されて
いくのですが、ただひとつ僕らが沖縄那覇大会で明確に伝えた
かったのは、沖縄戦というものとはすなわちどういう戦争だったのか
ということです。今伝わってくるニュースソースでよく国内で議
論されているのが、『沖縄は被害者だ』といったようなことです。沖
縄の先人たちというのは殺されたのではなくて、戦ったのだというも
のを僕は伝えたかったので、沖縄那覇大会での記念事業である「平
和の集い」を主管青年会議所側からご提案頂いた時には心から嬉し
く思いました。「殺された」と「戦った」は違うのですよ。ではなぜ
戦ったのかというと、今の子どもたちの笑顔を守りたかった。この
国の誇りを守りたかった。この二つの事実だけを僕はお伝えしたく
て、沖縄であのような全国会員大会を開催したかったというのひ
とつあるのです。

北九州は北九州でこれまでの歴史というものがあって、そこで我々
現代人が本来知らなければいけないところ、またこだわらなければ
いけないところ、先程の五市合併の話もそうですよ。今の中心市街
地活性化の問題にしても、全ての部分でそもそもの北九州から
今日を振り返った中で、我々が案外語り継いでこなかったものに
触れた時、そこから『こんなに良いものなのですよ』と出すことによ
って、全国の仲間たちが、『実は自分たちのまちにも良いものが
あった』ということに置き換え、受け止めてくれると思います。そ
ういう気付きとして、皆に何をお土産に持ち帰ってもらえるかとい
うところは是非これから3年間議論し、総論から各論に落として
いうて頂きたいと思っています。今、目の前にある当たり前にあるもの
が、何かのきっかけによって逆に個性になっていきますよね。

松尾 それがよく分かったのが今年の誘致理念作りです、大会誘致運動そのものでもありました。それを今度は、明確に表現する手法まで含めてしっかり議論して、記念事業として昇華していきたいと思っています。次年度の北九州JCの組織では、その記念事業というものをどのような形で捉えていくのかということをきちんと形にしていけるために、担当委員会を幾つか作る予定にしております。私自身も大会成功に向けてのバトンは小野次年度理事長予定者には渡せたとは思っておりますけれども、今年主管が決定した時の理事長として、責任はしっかりと持ち、2012年までは卒業できないと肝に銘じて、努力して参ります。

2012年、61年目の全国会員大会は 今後のJC運動の可能性につながっていく。

安里 2011年度に名古屋で開催される第60回大会を終えて、そこから一旦リセットして再スタートを切ると思うのですよね。還暦を迎えて次の年というのがむしろ日本JCにとっても一番の勝負処なのです。ですからこの61年目をどう迎えるかというのが、今後のJC運動の可能性につながっていくと思いますので、ただ単なる61分の1の大会ではなく、その大会が持たなければならない意義を今からむしろ逆提案していく位のスタンスで臨んでいただきたいと思います。それから、松尾理事長とは以前から協議しておりますが、究極の問題は「人づくり」。大会成功に向けて役者をどう作っていくということも戦略的にやって頂きたいですね。

松尾 「人づくり」の問題は一番難しいのですが、例えば、日本JCなどへの出向に対する考え方も変わってきておりますし、皆、前向きになっております。また、主管青年会議所として決まったことに対する責任と覚悟というものが生まれてきておりますので、我が北九州JCのメンバーであれば来年以降、間違いなく期待以上の動きをしてくれると思います。

安里 ただ単に北九州JCがやるということでは周りは納得しません。誰がやるのかという「誰」を早急に作るというのが一番の課題なのではないかと思えます。(全国会員大会主管を)獲得した人間とやる人間が違ってしまうことが課題になってくると思うのです。そこはよく気を付けて頂きたい。やらされたという認識で当該年度を迎えたら悲劇が生まれますから、『僕たちが大会を作った』と誇ってもらえるように、特に後輩に対しては伝えるべきことは伝えていき、あとは託して求めずといった姿勢で、その時の担い手たちがのびのびとやれるような環境を是非作って頂きたいと思えます。

松尾 有難うございます。会頭としてより大会経験者としての貴重なアドバイスとして真摯に受け止めたと思います。

北九州は工業のまちのイメージが強い、 福岡市とは対極的で「光」と「影」のように見えていた。

松尾 それでは最後に、ずばり北九州のまちの印象をお聞きたいのですが。
安里 工業のまちというイメージが強いですね。それから、福岡(県)の中でのもうひとつの福岡のような存在で、もうひとつの個性がそこにあるといった感じです。言い方を変えて、悪い表現をすると「光」と「影」。表に出ているのは、「中洲」などといった福岡市のまちの華やかさと、そうではないもうひとつの大きな都市。対極的に僕らは見ていました。だからこそ、今までそれが「影」となっているものが、むしろそうではなくて、日本という国のこれまでの歴史にどれだけこの地が国策として寄与してきたのかというものを表に出していくということが、歴史を学ぶ意味合いでも全国会員大会の開催意義に繋がっていくのではないかと思います。よく言われている「自然をどう取り戻すか」というプロセスをずっと歩まれてきた市民の顔がまた伝わってきたら、より一層皆元気になって全国各地に帰っていくのではないかなと期待しています。

松尾 なるほど。それは「世界の環境首都」を目指している私たちのまちづくり運動を行う上で良いヒントを頂いたと思います。これから2012年の全国会員大会成功に向けて、更に邁進して参りますので、楽しみにしててください。

安里 本日はお忙しいところ有難うございました。こちらこそ有難うございました。2012年が来るのを本当に楽しみにしております。



ホームページに
全文を掲載予定!!
北九州を
カタルヒット。
vol.09

OTONAの米作り～稲刈り編・餅つき編～

開催日 ■ [稲刈り] 10月20日(火) [餅つき] 12月6日(日) 会場 ■ 小倉南区大字山本279番地1号



10月20日、小倉南区大字山本において『OTONAの米作り～稲刈り編』が、12月6日、同会場において『餅つき編』が北九東部農業協同組合の協力のもと開催されました。

6月に手植えをした餅米の苗は、暑い夏の太陽を浴びてすくすくと成長し、8月に草刈りもしたことにより、栄養たっぷりの黄金の稲穂になり、10月20日に中井小学校の生徒や北九州特別支援学校の生徒と共に、楽しい収穫祭として稲刈りを行いました。また、収穫した餅米60kgを譲り受け、12月6日には餅つきを行いました。家族連れで参加した北九州JCメンバーも多く、総勢70名を超す参加者と楽しく杵で丁寧につき上げ、今年度北九州JCを卒業される49名の先輩方に卒業式でプレゼントするために、紅白頭頭ならぬ紅白餅を作り木箱に入れ丁寧にラッピングしました。残りは参加者の皆さんと、酢餅や黄粉餅、砂糖醤油餅、ぜんざいにして頂きましたが、子どもたちが美味しそうに餅を頬張る姿がとても印象的でした。

「『米』の育成を通して自然の豊かな恩恵に感謝し、食べ物への感謝の気持ちを醸成しよう」という目的のもと始めた事業も遂に完結を迎えました。植えた苗が立派な黄金の稲穂へと成長したように、北九州JCメンバーも心の成長を遂げたことと思います。一年間応援頂いた皆様本当にありがとうございました。

OTONANOSENAKA推進委員会 委員長 井上 剛

12月度入会された 新入会員のご紹介

早間 千晃君
ハヤマ カズキ
生年月日 ■ 昭和53年5月28日
勤務先 ■ (有)ハヤマ
紹介者 ■ 高倉・石川

小嶋 慶君
コジマ ケイ
生年月日 ■ 昭和56年1月16日
勤務先 ■ (株)セルブ
紹介者 ■ 小野・小嶋

野上 裕貴君
ノガミ ヒロユキ
生年月日 ■ 昭和55年7月3日
勤務先 ■ 畑中瀬法律事務所
紹介者 ■ 前田・松尾

柚 剛君
ユズ タツシ
生年月日 ■ 昭和49年8月6日
勤務先 ■ 昭電テックス(株)
紹介者 ■ 小嶋・石崎

上野 照弘君
ウエノ テルヒロ
生年月日 ■ 昭和53年8月21日
勤務先 ■ 北九州市議会議員
紹介者 ■ 石川・重永

清水 宏晃君
シズミ ヒロアキ
生年月日 ■ 昭和58年12月21日
勤務先 ■ (株)W
紹介者 ■ 平原・壺山

松田 健作君
マツダ ケンサク
生年月日 ■ 昭和56年1月18日
勤務先 ■ (株)ウイング
紹介者 ■ 片山・宮熊

川本 辰史君
カワモト テンシ
生年月日 ■ 昭和47年4月26日
勤務先 ■ (有)福生自動車
紹介者 ■ 松本・内川

井瀬 優作君
イセ ユウサク
生年月日 ■ 昭和55年12月18日
勤務先 ■ (株)イコーハウス
紹介者 ■ 仙敷・安東

原田 茂樹君
ハラダ シゲキ
生年月日 ■ 昭和50年6月24日
勤務先 ■ (株)つる平
紹介者 ■ 宮熊・角田

吹上 真一君
フキガミ シンイチ
生年月日 ■ 昭和51年11月10日
勤務先 ■ Sin City -MusicVar-
紹介者 ■ 宮熊・堀口

瀬来 慎一郎君
セライ シンイチロウ
生年月日 ■ 昭和57年11月8日
勤務先 ■ 北九州市議会議員 森浩明事務所
紹介者 ■ 森・小田

菊水 俊賢君
キクスイ シュンケン
生年月日 ■ 昭和47年9月14日
勤務先 ■ 緒方林太郎後援会事務所
紹介者 ■ 緒方・内川

田中 雅之君
タナカ マサユキ
生年月日 ■ 昭和50年2月15日
勤務先 ■ (株)サニーライフアートクラブ明善社
紹介者 ■ 宮熊・大西

JCI世界会議ハマメット大会

開催日 ■ 11月16日(月)～21日(土)
開催地 ■ アフリカ チュニジア共和国 ハマメット

11月16日～21日の6日間、理事長以下総勢7名で、2009年度JCI世界会議ハマメット大会に参加して参りました。最初のファンクションであった日本JC結団式では、「観光気分ではなく、積極的に国際交流を行うように」との安里会頭のご挨拶に、200名を超えるメンバーが真剣に聞き入っていました。また、私たちの最大の担いであるジャパンナイトのブース出展では、東田第一高炉を大きく引き延ばしたポスターの前での写真撮影を企画いたしました。総計220組の撮影を行うと共に、東田第一高炉の由来や、撮影した写真が確認できるHPアドレスを記載したカードを手渡しました。2時間弱の間に、これほど多くの外国人に対して話しかけ、北九州市のPRをしたのは初めての経験でしたが、大勢の皆さんが笑顔で写った写真を見返すたびに、世界中の人々に北九州市のPRができたことを嬉しく思います。この写真は北九州JCのHPにアップされていますので、ぜひ確認してみてください。

他にも多くのファンクションに参加し、世界会議の醍醐味を堪能した5日間でしたが、やはり、行って初めてわかること、感じるものがたくさんあるな、と改めて感じました。自らの国際感覚を磨く上でも、今までとは違う自分に出会う意味でも、世界会議は本当に素晴らしい経験を与えてくれる機会です。来年は大阪大会と大変参加しやすい年ですので、皆さん是非参加してみてください。

事務局長 小嶋 亮



ジャパンブースアルバム⇒<http://kitakyushu-jc.jp/2009/jci/>

アカデミー特別室卒業式

開催日 ■ 11月24日(火)
会 場 ■ ステーションホテル小倉



11月24日、ステーションホテル小倉にて、アカデミー特別室卒業式が開催されました。今年1年のアカデミーで培った成果を披露すべく、企画・運営全般を通してアカデミーメンバー全員で取り組みました。

この卒業式を迎えるまで当室が担当した「わっしょい百万夏まつり」、「北九州ドリームサミット」、「到津の森公園 夜ZOOで秋祭り」などの大きな事業を運営して参りましたが、新入会メンバーが中心となつて行う事業は、今回が初めての事で戸惑いの連続でした。しかし、積極的に事業に参画する事でメンバーとの友情が芽生え、深い絆が生まれました。そして何より、多くのメンバーの皆様に支えられていることを実感いたしました。これからは一人のJCメンバーとして、皆様の期待に応えるべく、JC運動に邁進していきたいと思います。

最後に今年1年、我々アカデミーメンバーを支えていただき、またいつも暖かい目で見守っていただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

アカデミー第1委員会 竹中 達也

社団法人 北九州青年会議所 仁川富平公式訪問

開催日 ■ 11月27日(金)～29日(日)
会 場 ■ 韓国仁川広域市

11月27日～29日の3日間の日程で、今年度の当委員会最後の事業となる、仁川富平JCへの公式訪問が行なわれました。本年7月に仁川富平JCが北九州へ公式訪問された際には、我々北九州JCの創立記念事業である「ALL JC DAY」に参加して頂きましたが、今回の公式訪問では我々も仁川富平JCの「第39回創立記念式典」に参加させて頂きました。海外の同じ志を持った仲間とお互いの創立記念式典に参加し、歴史を共有できるという信頼関係が築けたことは、今年の大きな収穫となりました。また、両JCメンバーによる「キムチ作り事業」を行ったり、北朝鮮との国境が見下ろせる愛妓峰に案内して頂いたり、公式訪問中は仁川富平JCメンバーの熱烈な歓迎を受けました。

3日間の日程を通して、諸先輩方が今まで20年以上に渡って築かれてきた歴史と友情の深さを感じ取る事ができ、今後も民間外交の一翼を担うJCの一員として、両LOMの友好関係を深め、次の世代に引き継いで行きたいと思ひます。

国際交流促進委員会 尾尻 憲一



12月度例会・卒業式・懇親会・褒賞授与式

日時 ■ 12月9日(水) 18:00～
会場 ■ リーガロイヤルホテル小倉



12月9日、リーガロイヤルホテル小倉にて、(社)北九州青年会議所12月度例会・卒業式・懇親会・褒賞授与式が開催されました。

例会では松尾理事長から、「社会変革に挑むカタリストたれ!」～わがまち北九州への誇りを胸に～をテーマに6つの基本方針を掲げ一年間活動してきたメンバーへの総括の挨拶が行われ、卒業式では卒業生一人ひとりに感謝状が授与されました。その後の懇親会では、小野次年度理事長予定者へのプレジデンシャルリースの引継ぎ、卒業生の素晴らしいパフォーマンスが行われ、おおいに盛り上がりしました。続く褒賞授与式では一年間の素晴らしい活動を行ったメンバー、委員会がそれぞれ褒賞を受賞しました。毎月行われた例会でしたが、皆様いかがだったでしょうか。

例会委員会では出席率の向上を目標に例会のあり方を考えながら、走り続けた一年間でした。不慣れな点もあったかとは思いますが、一年間本当にありがとうございました。

例会委員会 委員長 辰本 誠一郎

北九州の応援団

北九州JCは、ニューウェーブ北九州・到津の森公園をはじめ、わがまち北九州を応援します。



SEICHO MATSUMOTO 100th Anniversary Year | 2009 Kitakyushu City

松本清張生誕百年

記念事業・イベント開催中!

詳しくはホームページで <http://www.seicho-100.com/>



月刊ニューウェーブ通信

来シーズンは、Jリーグのステージで!

今年から北九州青年会議所さまより機関紙に「ニューウェーブ・コーナー」を設けていただきチームに関わる様々な人に登場いただきました。

紙面を振り返ると、我がクラブは実に多方面の方々に支えられていると実感します。試合運営のボランティアスタッフ・スタジアムの音響スタッフ・試合告知協力をいただいた地場企業の方々などの協力により、今シーズンのホームゲームの盛り上がり方が創り上げられていった様に思います。

また、支える方々だけではなく、今シーズンは多くの観客の皆さまにご来場いただき、チームを大声援で後押しいただきました。

来シーズンからは、Jリーグのステージで戦う「ギラヴァンツ北九州」の応援に是非、本城陸上競技場へお越し下さい。

株式会社ニューウェーブ北九州 代表取締役社長 横手 敏夫さん



子どもたちに夢と感動を!

持株会員募集!!

個人・法人・団体
いずれの方も
入会できます。

1口5万円~最高19口95万円まで

(1件につき1,000円の入会金を申し受けます。)

◆会員特典

- (1)持株会会員証 (2)毎年シーズン開幕戦にご招待(1口につき2名様)
- (3)ホームゲーム入場券割引 (3)ファン感謝デー参加優先権

詳しくはホームページをご覧ください。



ニューウェーブ北九州 J2昇格決定!

Giravanz KITAKYUSHU

来季より「ギラヴァンツ北九州」に!

HPアドレス <http://newwave-k.co.jp/>

新ホームページ近日公開予定: <http://www.giravanz.jp/>



到津の森公園 Staff Column Event Information

2009年を振り返って

早いもので、弊園のクリスマスデコレーションが賑やかになる年の瀬となりました。

2009年を振り返ってみますと、オバマ大統領の「チェンジ」に始まり、日本でも政権交代が行われ、「変化」がキーワードの1年だったような気がいたします。

弊園も「新ふれあい動物園の完成」、「入園者300万人達成」や、林間学園が70回目の開催になったことなど一つの変化、節目の年であったと思います。また、11月に開催された、青年会議所の皆様を中心となった、到津の森からの会主催の「夜ZOOで秋まつり」は新しい到津の森公園の魅力を開拓するものでした。

来年も弊園をご支援、ご指導いただきますよう、よろしくお願いします。

到津の森公園 事業管理係長 下世 健美さん

到津の森のお正月

※通常は9時間開園

1月2日(土)・3日(日)10時~17時

【羽織袴のソウさんと記念撮影】



時間 ● 11:00~11:30

場所 ● 園内各所 ※カメラはご持参ください。

到津の森公園のキャラクター「ソウ君」が、お正月バージョンの羽織袴姿で園内に出没します。

気軽に声をかけて一緒に記念撮影をしよう!!

【「もち」と「ぜんざい」のふるまい】

時間 ● もち 12:00~

(各日先着100個程度)

ぜんざい 14:30~

(各日先着300食程度)

場所 ● フォレスト横休憩舎

つきたてのおもちとぜんざいをふる

まいます。みんなで食べて温まろう!

詳しくはHPで <http://www.kpfmmf.jp/zoo/>



【動物ジャンボかるた大会】

時間 ● 12:45~13:45 (雨天中止)

場所 ● 芝生広場

対象 ● 小学生以下 (景品あり)

広い芝生広場に散らばっている巨大なカルタ。カルタの絵柄はすべて到津の森の動物たちです。カルタめがけて走り回って、寒さを吹き飛ばしましょう!!

年末年始の休園日
12月29日・30日・31日、1月1日

※イベント内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

2009年度 褒賞受賞者

1年間、本当に
お疲れさまでした。

◆委員会褒賞

最優秀委員会賞	アカデミー第3委員会
優秀委員会賞	「青空がほしい」プロジェクト特別委員会
	アカデミー第2委員会
理事長特別委員会賞	会員拡大委員会
	台北交流事業委員会
	アカデミー第1委員会
	環境首都推進委員会
拡大功労委員会賞	事務局
事業報告委員会賞	アカデミー第2委員会

◆卒業生褒賞

栄誉賞	中柴 崇君 松尾 孝治君
特別功労賞	鮎川 学夫君 福嶋 真一君
	松永 浩君 森 浩明君
功労賞	井原 啓介君 奥 道雄君
	倉田 雅幸君 杉田 英雄君
	関 宏一郎君 広本 誠治君

◆個人褒賞

最優秀会員賞	宮熊 伸一君
優秀会員賞	小迫 美緒君 松成 七重君
理事長賞	原田 圭君 井上 知巳君
	坂本 和代君
拡大功労賞	内川 英樹君
グランドスラム賞	松尾 孝治君 小野 卓爾君
	前田 一君 鷹野 秀史君
	小嶋 亮君 小迫 美緒君
	宮熊 伸一君
特別外向功労賞	中柴 崇君 広本 誠治君
	松永 浩君 小野 卓爾君
	鷹野 秀史君
外向功労賞	末松 雅之君



JC NEWS 編集後記

2009年度のJCニュースはいかがだったでしょうか?

今年度は北九州JCの事業報告に加え、対談特集・月刊ニューウェーブ通信・到津の森公園スタッフコラム&イベント情報・環境やOTONANOSAKAコラムを掲載することで、JCメンバーのみならず市民の方々にも読み応えある広報誌となったのではないかと自負しております。

今年一年、記事をご提供頂きました関係者の皆様、また北九州JC各委員会の皆様、本当にありがとうございました。

地域のカタリスト開発委員会 委員長 岸本 秀康

09JCニュースもいよいよ最終号を迎え、最後に残っていたこの後記を書きながら一年間を振り返っています。

昨年の終わりに、JCニュースの制作に携わることが決まり、誌面の構成や内容を考える中、「市民の方々にも読んでもらおう」ということで、新たな試みとして、市内15箇所の施設に設置・配布させていただきました。ですから、毎号この広報誌がJCと市民を繋ぐ「カタリスト(触媒)」になるようにとの想いを込め編集し、少しはJCのことを市民の方々へ伝えられたらと思っています。

最後に、今年このJCニュースに携わっていただいたすべての皆様に感謝を申し上げます。一年間ありがとうございました。

地域のカタリスト開発委員会 副委員長 村田 仁志



北九州青年会議所

検索

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>

ホームページで新着情報・イベント情報や活動報告を今すぐチェック!

2010年1月、ホームページ

リニューアル予定!! 乞うご期待!